

2025年8月15日

Hondaの米国現地法人であるアメリカン・ホンダモーター（本社：カリフォルニア州トーランス 社長：滝沢 一浩）は、現地時間2025年8月14日に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

### SUVタイプの新型EV「Acura RSX Prototype」を世界初公開

Hondaは、米国現地時間8月14日、AcuraブランドのSUVタイプの新型EV「Acura RSX Prototype（アキュラ・アールエスエックス・プロトタイプ）」を世界初公開しました。

Acura RSX Prototypeは、2024年に米国カリフォルニア州で開催されたMonterey Car Week（モントレー・カー・ウィーク）で発表された、プレミアムパフォーマンスブランドであるAcuraブランドの次世代EVモデルの方向性を示すコンセプトモデル「Acura Performance EV Concept（アキュラ・パフォーマンス・イーブイ・コンセプト）」をベースに開発されました。

Acura RSXの量産モデルは、ハイブリッドを含むICE（内燃機関）搭載車とEVの混流生産による柔軟な生産体制を持ち、米国におけるEV生産のハブ拠点と位置付けているオハイオ州メアリズビル四輪車生産工場で生産され、2026年後半の発売を予定しています。



Acura RSX Prototypeは、Hondaが独自に開発した次世代EVプラットフォームを採用する最初のモデルであるとともに、Honda独自のビーコルOS「ASIMO OS（アシモ オーエス）」を搭載し、ユーザー一人ひとりの好みや運転行動を学習して、“超・個人最適化”された移動体験を実現します。また、パワフルなデュアルモーターによるAWD（オールホイールドライビング）やスポーティなセッティングを施したダブルウィッシュボーン式フロントサスペンション、Brembo製ブレーキを標準装備し、低重心設計による没入感のある魅力的な走行体験を提供します。さらに、双方向充電機能を備えており、移動手段としての用途にとどまらず、移動に用いないときは蓄電池として家電製品への電力供給が可能であり、エネルギーの有効活用に貢献します。

Acura RSX Prototypeは、米国カリフォルニア州で開催される、ビンテージカーからレースカーまでさまざまなクルマの集まる祭典、Monterey Car Weekのイベント「The Quail（ザ・クエイル）」（現地時間8月15日）および「Pebble Beach Concours d'Elegance（ペブルビーチ・コンクール・デレガンス）」（現地時間8月17日）にて展示されます。

## ■ 「Acura RSX Prototype」 のデザイン

ダイナミックなスタイリングは、「Acura Performance EV Concept」のデザインを継承しています。次世代 EV プラットフォームが可能にするデザインの自由度を最大限に生かし、クーペのようなシルエットに深く彫り込まれた形状のサイドパネルを備えた力強いプロポーションとしています。

張り出したホイールアーチと 21 インチの大径マルチスポーツホイールが力強さを際立たせるとともに、ロングホイールベースによりタイヤが車体の四隅に配置され、前後オーバーハングが短くなることで、現代的で走りに特化したデザインを実現しています。

フロントフェイスは、Acura 独自のダイヤモンド・ペンタゴン・デザインを進化させ、シャープな形状のデイタイムランニングライトと、低い位置に配置された LED ヘッドライトによって、上下分割型の印象的なヘッドライトデザインを採用しています。

## ■ アメリカン・ホンダモーター Acura デザイン・エグゼクティブ 土田 康剛のコメント

「Acura RSX Prototype は、優れた空力性能がもたらすパフォーマンスを、スポーティーなクーペスタイルで表現しています。このモデルを皮切りに、パフォーマンス性や独自性を表現した普遍的な美しいデザインと先進技術を軸に Acura ブランドを再定義していきます」